

第4学年3組 道徳学習指導案

10月22日（火）5校時

指導者 藤村 綾

展開場所 4年3組 自教室

1. 主題名 友達とは 内容項目2－（3）友情
資料名 「だれと友達になりたい」

2. 研究主題について

社会性・連帯性のある児童、生徒の育成－魅力ある学校・学級づくりを通して－

生徒指導部会の研究主題である「社会性・連帯性のある児童、生徒の育成－魅力ある学校・学級づくりを通して－」は学校生活の中で、思いやりをもち、互いに励まし合い、戒め合いながら、よりよい生き方を追求する姿を求めている。これは、本校の研究主題として求められている「支え合い、学び合い、認め合う、みなみっ子の育成－共感力を育む道徳学習を通して－」と共通している。子ども達が支え合い、学び合い、認め合うことは学校の教育活動の様々な場面で、一人一人が安心して生活し、集団で過ごすことの良さを感じながら、社会性や連帯性を身に付けることにつながっていくと考えられる。

現代の児童を取り巻く社会の変化は著しく、様々な問題が生じている。様々な問題に直面した時に、その場の状況を見極め、自律的な判断力や周囲との調整力が必要となる。「～することが大切である」と頭で理解していても、道徳的価値を実践できない。その力を育成するために、中心的役割を担うのが道徳教育であると考え。本校では道徳の時間を通して、児童が主体的に学び、お互いの良さに気付き、より良い生き方を求めていく姿を目指して取り組んでいく。教師に押し付けられたものではなく、子ども達の発見や驚き、葛藤を通して、児童一人一人が自己の生き方について考えを深められるようにしたい。自分の考えたことを友達に伝え、自分と異なった友達の考えを理解する体験をもつことで、様々な状況において、自分の行動を主体的に選択し、道徳的価値を実践できるような力を身に付けることができると考える。また、児童が問題意識をもって学習に取り組み、小グループや学級全体での話し合いで意見を交流することで、より高い道徳的価値があることに気付くことができると考える。

本学級の児童は、集団としては落ち着いて活動し、互いに助け合いながら学校生活を送ることができている。しかし、個々を見ていくと、友達の重要性を強く感じてはいるもののよりよい人間関係を築くために、自分の思いを伝えたり、友達の考えを深く知ろうとしたりすることを苦手としている児童もいる。

そこで、道徳学習を重ねていくことで、子ども達がより社会性、連帯性をもって友達や自分の周りの人とかわれるようになるだろうという視点で、授業提案を試みることにした。

3. 主題について

(1) 内容項目（価値）について

本主題は、内容項目2－(3)「友達と互いに理解し、信頼し、助け合う」ことをねらいとしている。ここでは、友達に自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりすることで、友達のことを理解しようとする姿を育てたい。

児童にとって友達関係は、学校生活を営む上で、大きな役割を担っている。より良い学校生活を送るためには、より良い友達関係が重要である。子ども達のトラブルの原因の一つとして、自分の気持ちを上手に伝えられなかったり、友達の考えをちゃんと聞かずに、勘違いしてしまったりしていることが挙げられる。話し合いの中で解決していくことがより良い友達関係を築いていくことにつながると考える。

また、上学年として下学年のお世話をする立場となった子ども達が、下学年の子ども達の意見を聞いたり、それを受け入れたりしようとする態度が、互いの信頼関係や理解にもつながる。

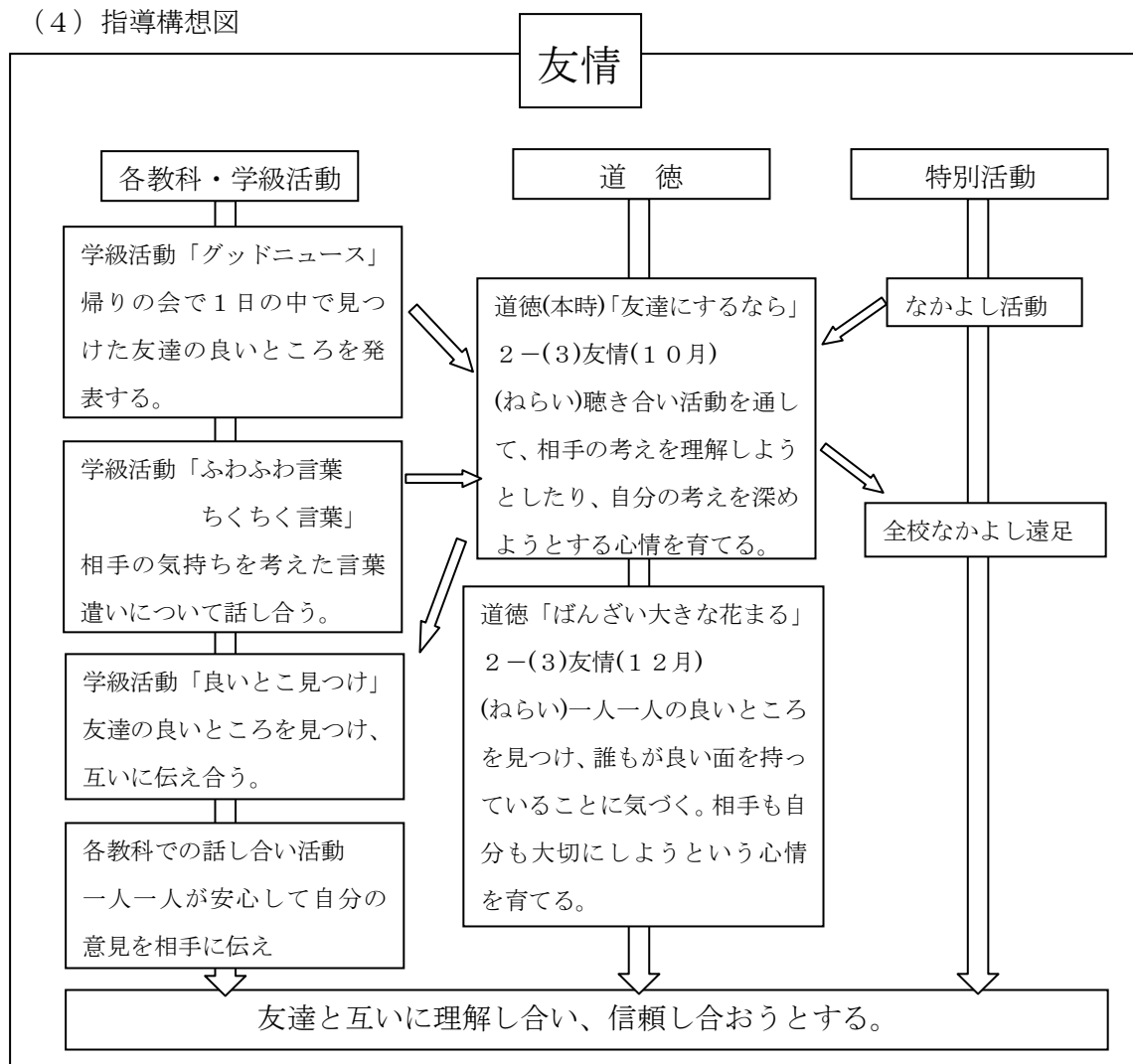
そこで、本主題では、自分と同じ考え方でも、たとえ違った考え方でも、それぞれの良さを見つけ、相互の考えを認め合うようにする。そうすることで、友達に対しての理解とともに、自分の考えも深めていく。自分の意見を相手に肯定的に受け入れられる経験をすることで、互いに安心して意見を交わし合い、真の理解を得ることの大切さに気付かせていきたい。

(3) 資料について

本資料は、児童にとって身近なアニメであるドラえもんを題材にしている。ドラえもんに登場する人物の中でも、のび太、ジャイアン、スネ夫、できすぎ君の4人に、友達になりたい順に順位をつける。のび太は、ドラえもんに頼る場面が多く、どこか人頼みでしっかりしていないイメージがあるが、思いやりがあり、優しい一面ももっている。ジャイアンは、自分勝手に強引な部分があるが、いざという時には友達を守ろうとする強さを持っている。スネ夫はお金持ちで、そのことを自慢したり、いばったりしているが、実は気が弱い。また、器用でポジティブな一面ももっている。できすぎ君は、勉強もスポーツも完璧にこなす性格も穏やかではあるが、友達にするには、あまりにも完璧すぎて引け目を感じさせる部分もある。

それぞれのキャラクターの性格に特徴があり、子ども達が自由にそれぞれの個性を想像しやすい。それぞれのキャラクターの良さに気づいたり、一人の人物を多面的に見られるようにしたりできれば良いと考える。また、「誰と一番友達になりたいか」とランキングして考えることを通し「友達」とはどんな存在なのか、どんな価値を見つめるのかを考えさせたい。

(4) 指導構想図



4. 仮説との関連

仮説1 個を生かした教育活動を進めていけば、魅力ある学校生活になるであろう。

ドラえもんという、子ども達にとって身近なアニメに登場するキャラクターを用いることで、興味をもって気軽に考えることができる。一人一人が自分の考えをしっかりとつことが安易になると考える。自分はキャラクターの中で誰と一番友達になりたいかをランキングしながら考えることで、「友達」に対する自分の価値観に気づくことができるであろう。

仮説2 児童・生徒が意欲をもって取り組むような集団活動の場を設定していけば社会性、連帯性が高まるであろう。

聴き合い活動では3から4人の小グループでの聴き合いを行う。聴き合い活動は話し合い活動とは違って、相手の意見を否定しないことがルールである。どんな意見も肯定的に受け入れながら、自分と異なる考えについては質問をして、より深く知ろうとすることが

大切である。

また、発言することが苦手な児童も小グループにすることで、発言しやすくなるのではないかと考える。小グループでの聞き合い活動を繰り返すことで、だんだん学級全体の中で安心して発言できるようになるであろう。

さらに、ランキングをつけることで、選んだ理由を明確にし、進んで自分の考えを伝えようとする態度や、友達の考え方に対して興味をもって聴く姿勢につながると考える。正解があるわけではないので、すべての価値を認めることができる。新たな考え方を見出し、それぞれの良さを認めることで、社会性、連帯性が高まるであろう。

5. 指導計画（道徳を中心とした年間指導計画）

| | ねらい | 題材・主題名 | 内容 | 教科 |
|----|------------------------|-------------------------|---|--------------|
| 4月 | 言葉遣い | ふわふわ言葉・ちくちく言葉 | <ul style="list-style-type: none"> •言われてうれしい言葉とかなしい言葉を出し合い、確認する。ふわふわ言葉のあふれるクラスを目指す。 | 学活 |
| 5月 | きまり・マナー クラスのきまり | 雨のバス停留所で クラスのルール | <ul style="list-style-type: none"> •社会のルールを守ることにについて考える。 •みんなが気持ちよく学校生活を送るためにはどんなきまりがあるのか考える。今のクラスにとって必要なルールを決める。 | 道徳 学活 |
| 6月 | 聴き合う | 私のクラスに来てくれるなら | <ul style="list-style-type: none"> •選択肢の中からクラスに来てほしいと思う人物やキャラクターを選び、その理由を発表し合う。聴き合う活動では肯定的に相手の意見を受け入れる。 | 学活 |
| 7月 | 本当の友達 友情 | 日直 友達 | <ul style="list-style-type: none"> •友達が困っているときに、本当の友達としてどんな行動をとるのがよいのか考える。 •友達とのかかわりの中で大切にしていることを話し合う。友達の意見を聞いてよりよい友達像に気づく。 | 道徳 道徳 |
| 9月 | 聴き合う | 無人島 | <ul style="list-style-type: none"> •無人島に持っていきたいものを4つに限定し、ランキングをつけ、その理由を話し合う。聴き | 学活 |

| | | | | |
|-----|------------------------|------------|--|--------------|
| | | | 合う活動を通して、それぞれの考え方の良さを認め、自分の意見と比べながら考える。 | |
| 10月 | 聴き合う | ドラえもん | <ul style="list-style-type: none"> ・4人のキャラクターに友達になりたい順にランキングをつけ、その理由を考える。グループやクラスで聴き合い、様々な見方や捉え方があることに気づき、それぞれの良さを認める。また、自分の考えを受け入れてもらう体験から、安心して意見を出し合える雰囲気を作る。 | 道徳 (本時) |
| 11月 | ルール・マナー | ネットでけんか | <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットの掲示板を使う時のマナーやルールについて考える。誰もが気持ちよく使うためにはどうすればよいか話し合う。 | 道徳 |
| 12月 | 個性の伸長 良いところを見つけ | ばんざい大きな花まる | <ul style="list-style-type: none"> ・友達の良いところを見つけ、伝え合う。一人一人が自分の良いところに気づき、より良くしていこうという気持ちを育てる。 ・友達一人一人の良いところを見つけて伝え合う。 | 道徳 学活 |
| 1月 | 信頼友情 | 絵はがきと切手 | <ul style="list-style-type: none"> ・言いづらいことでも、伝えることが相手のためになるのなら、伝える勇気をもつ。 | 道徳 |
| 2月 | 公德心 | 通行止め | <ul style="list-style-type: none"> ・善悪の判断を自分の意志で行うことの大切さ、正しいことをする勇気について考える。 | 道徳 |
| 3月 | 家族愛 | ぼくの生まれた日 | <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が大切な存在であること、大切に思ってくれる人がいることに気づく。 | 道徳 |

6. 本時の指導

(1) 本時のねらい

友達のことを理解しようとする心情を育てる。

(2) 展開

| 過程 | 学習活動と発問 | ねらいにせまる手立て | 期待される子どもの姿 |
|------------------|---|---|---|
| 導入 (10) | <p>1 ドラえもんが登場する4人の中から友達になりたい順番を決め、ワークシートに書く。</p> <p>○4人の中で誰と友達になりたいと思いますか。友達になりたいと思った理由を書きましょう。</p> | <p>○身近なアニメのキャラクターを用いることで興味をもたせる。</p> <p>○登場人物4人のイラストを準備し、子ども達がイメージしやすいようにする。</p> <p>○ワークシートにランキング順位と理由を書かせることで、自分の考えをしっかりとるようになる。</p> <p>○キャラクターの性格については触れず、子ども達一人一人がもつイメージを膨らませられるようにする。</p> <p>○理由を大事に書かせることで、自分の考えを明確にし、はっきり伝えられる手立てとする。</p> | <p>○のび太、ジャイアン、スネ夫、できすぎくんが出てくるな。</p> <p>○いじわるをしないからのび太が一番だな。</p> <p>○力のあるジャイアンが友達なら怖いものなしだ。</p> <p>○スネ夫はお金持ちだし、自慢ばかりしているな。</p> <p>○できすぎくんは何でもできて、やさしいから仲良くなれるかな。</p> |
| 展開 前半 (10) | <p>2 ランキングをもとにグループで聴き合い活動を行う。</p> <p>○グループごとに聴き合いを行いましょう。</p> | <p>○3から4人のグループにすることで、全員が十分に自分の意見を聴いてもらえるようにする。</p> <p>○聴き合い活動にすることで、全員が肯定的に意見を聴き合う経験ができるようにする。</p> <p>○友達の考えを聴くこと</p> | <p>○1番に選んでいる人物は一緒だけど、理由がそれぞれ違うんだな。</p> <p>○4番にしていたけど、友達の考えを聞いて良いところもあるのだと気づいた。</p> <p>○みんなそれぞれ考え</p> |

| | | | |
|--------------------|--|---|---|
| <p>後半 (10)</p> | <p>3 全体で話し合う。</p> <p>○グループで聴き合いをして気づいたことを発表しましょう。</p> | <p>で、自分の考えと比べて、相違点を見つけられるようにする。</p> <p>○グループでの聴き合いで気づいたことを報告し合い、さらに様々な考えがあることに気づけるようにする。</p> | <p>方は違うけど、自分の考えを頷きながら聞いてくれてうれしかったな。</p> <p>○グループで聴き合いをした時とは、また違う考え方をしている人が、クラスの中にはいるのだな。</p> <p>○友達の意見を聴いて、やはり○○と友達になりたいな。</p> |
| <p>終末 (15)</p> | <p>4 学習を振り返り、ワークシートに感想を書く。</p> <p>○今日の学習で気づいたことや感じたことを書きましょう。</p> <p>○これからの自分は友達とどのように過ごしていきたいと思いましたか。</p> | <p>○聞き合い活動や話し合いを通して、気づいたことなど、感想を書くための視点を与える。</p> <p>○「面白かった」「よかった」という感想については、どんなところで面白いと感じたのか、よかったと思ったのか具体的に聞いていく。</p> <p>○今までの自分を振り返らせるため、事前のアンケートから考えに変化があった何人かの感想を聞き、全体に広める。</p> | <p>○聴き合い活動で自分の考えを聞いてもらえてよかった。</p> <p>○自分の意見を伝えるとわかってもらえるので、これからはもっと伝えていきたいと思った。</p> <p>○友達の考えを聞いてみると、いろいろな理由があって楽しかった。</p> <p>○自分から進んで考えを話せるようにしよう。</p> |